

## 平成26~30年度において家庭系ごみ・事業系ごみとも減少傾向にあった市町村の取組み等

市町村	処理計画期間（年度）	取組み状況等
北方町	H25~H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に指定ごみ袋を導入→家庭系ごみが減少</li> <li>・新型コロナウイルス感染症発生後、リサイクルセンターの利用者増加</li> </ul>
坂祝町	H22~R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26~27年度頃、一時的に<u>その他プラスチックごみの分別回収を実施</u> （現在は人件費等の問題があり実施なし。ペットボトルと白色トレイは分別回収実施。）</li> <li>・事業系ごみはパジェロ従業員寮からの排出量が影響しており、H26年度頃から従業員の減少に伴いごみ排出量も減少。</li> <li>・可燃ごみだけみると、増加傾向にある。全体としては、収集量自体が減少している。</li> <li>・民間の資源物回収拠点が増加している。</li> </ul>
輪之内町	R2~R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>エコドームの存在が、住民の自主的な分別を促進</u></li> <li>・各種分別の徹底</li> <li>・<u>新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度はごみ増加</u></li> </ul>
大野町	毎年更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特段思い当たる施策なし</li> <li>・<u>人口減少が一因と推察</u></li> </ul>
美濃加茂市	R2~R11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特筆すべき重点施策は思い当たらないが、基本的な施策を徹底</li> <li>→・<u>事業者に対して減量計画の提出を徹底</u>（上場企業でも工場レベルでは意識が低い。）</li> <li>・集積場の管理を行政ではなく住民自らが管理。自治会長との連携も密にしている。</li> <li>・<u>廃棄物に係るクレームがあった場合は速やかに対応。</u></li> </ul>
瑞穂市	H26~R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>市民の意見を取り入れてごみ分別手引き等を改定</u></li> <li>・事業者に対して、事業者が出す廃棄物は事業系ごみであることを認識してもらうよう啓発</li> <li>・平成27年7月から<u>分別区分を統一</u> （穂積地区：プラスチック製容器包装、巣南地区：陶磁器・ガラス類）</li> </ul>
大垣市	H27~R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度から容り法に基づくプラごみの分別を開始したため、その分（約500 t）は減少していると思われるが、大きな要因とは言えず、特筆すべき施策は思い当たらない。</li> <li>・収集する量は減少しているが、クリーンセンターへの持ち込み量は増加している。</li> <li>・<u>新型コロナウイルス感染症により外出自粛になってからは、大型ごみの搬出予約が増加する等の影響はあった。</u></li> </ul>